

# Technical Information

TOHO KASEI KOGYO CO., LTD.

## ウルタイトスーパー 780A

(自然加硫型接着剤)

ウルタイトスーパー780A は、樹脂コンベヤベルトのエンドレス加工接着をはじめとして、その修理、栈付け、さらに軟質塩ビシート、ポリウレタンシート等の接着に優れた効果を発揮します。

主剤は食品衛生法(PL 制度)適合品、硬化剤は架橋剤の為対象外扱い。

一般性状	主剤	硬化剤
外観	透明液体	淡黄褐色透明液体
粘度 (mPa・s/25°C)	2000~4000	-
比重	0.85~0.95	0.90~1.0
基本配合比 (重量比)	10	0.75
ポットライフ (hr)	1~2	
オープンタイム (min)	5~15	

### ◎接着力

#### [試験片]

被着体を適当な大きさにカットし、小型のディスクグラインダーを用いてバフ掛けをする。その後、付着している樹脂の粉を取り除き、トルエン等の有機溶剤で脱脂洗浄し、乾燥させる。

#### [混合]

主剤を必要量容器に取り、硬化剤を 10:0.75 の混合比率で混入しよく攪拌する。

#### [塗布 (1回目)]

ブラシを用いてムラの無いように平均に刷り込むように塗り、完全に乾燥させる。約 30 分乾燥。

#### [塗布 (2回目)]

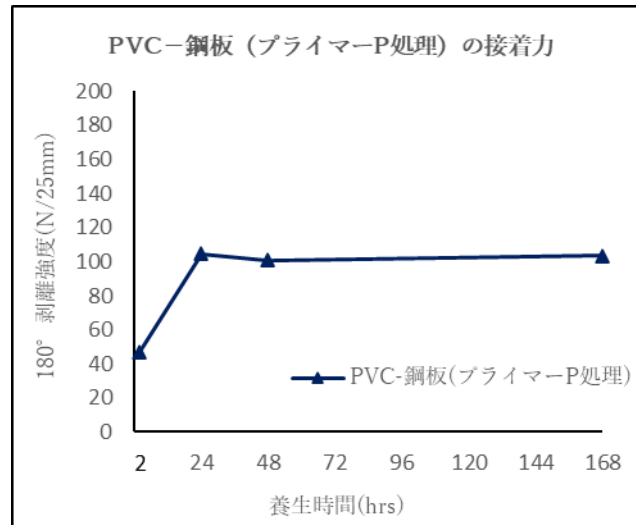
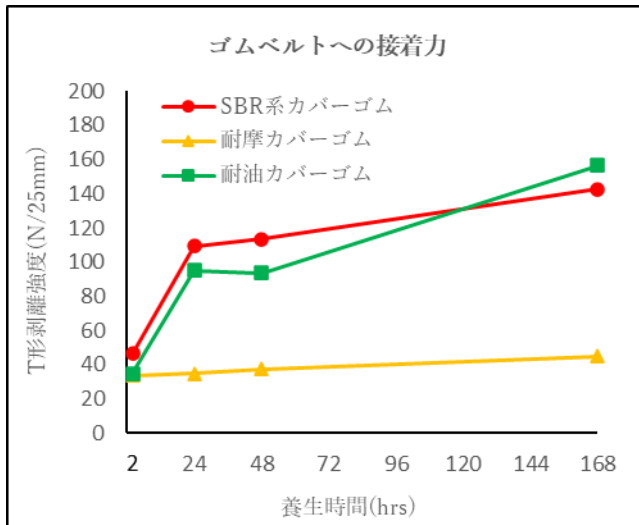
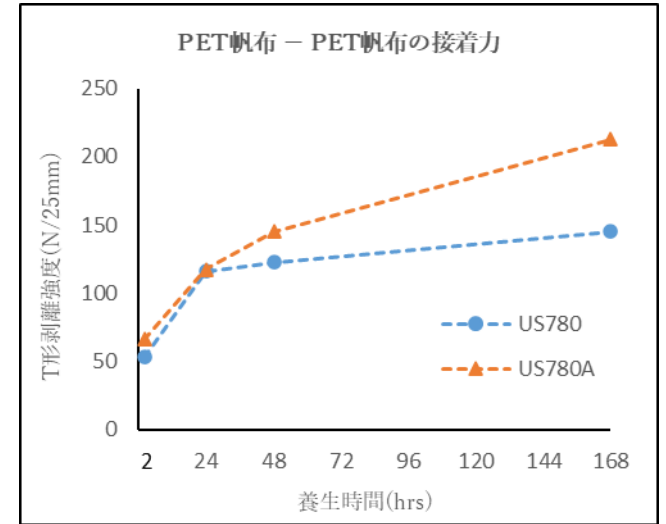
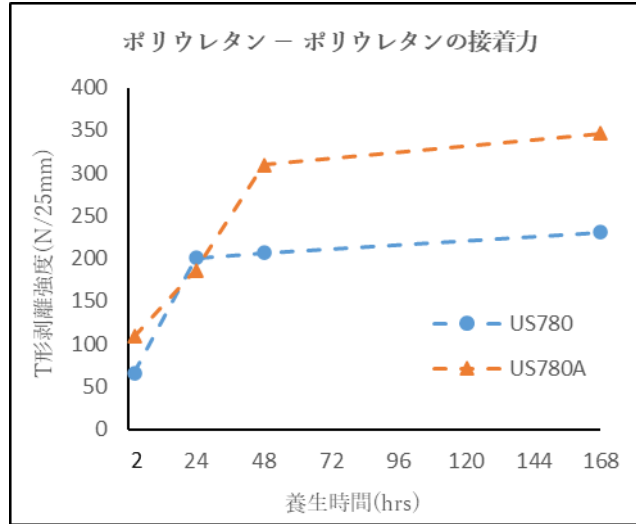
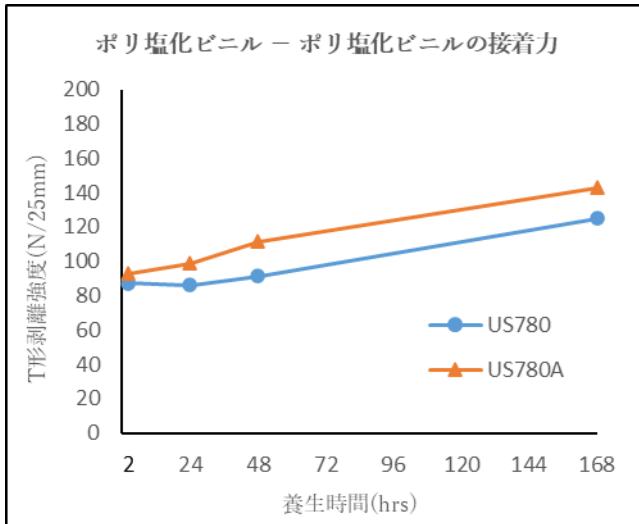
ブラシを用いてムラの無いように平均に塗り、オープンタイムをとる。5~15 分。

#### [貼り合わせ、養生]

空気が入らないように貼り合わせ、ハンドローラー、ハンマー等で十分に圧着させた後、25°Cで養生する。

#### [測定]

貼り合わせた被着体を 25mm 幅にカットし、引張試験機で各養生時間の T 形剥離強度を測定する。



樹脂(塩ビ・ウレタン)とゴムを接着させたい場合等は US780A で可能です。ゴムの種類によって接着力は変動しますので、使用前の試験を推奨しております。

US780A は弊社金属用プライマー(プライマーP)と接着が可能です。プライマーP 未処理の場合は、十分な接着力は得られません。

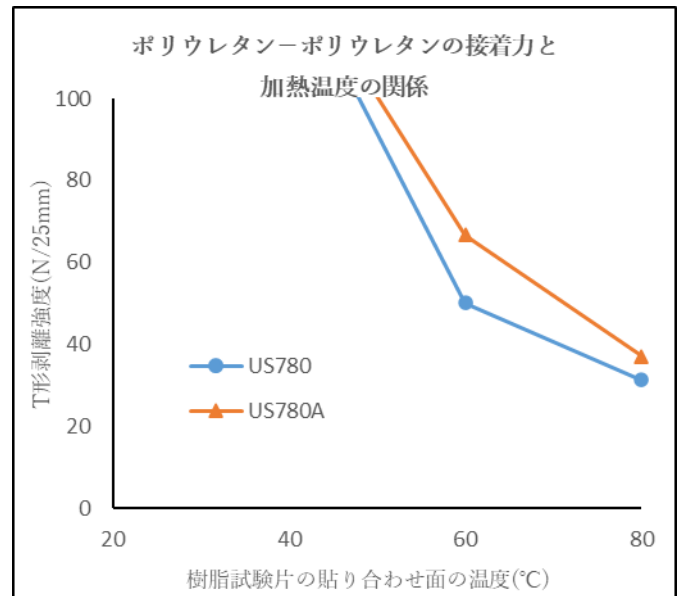
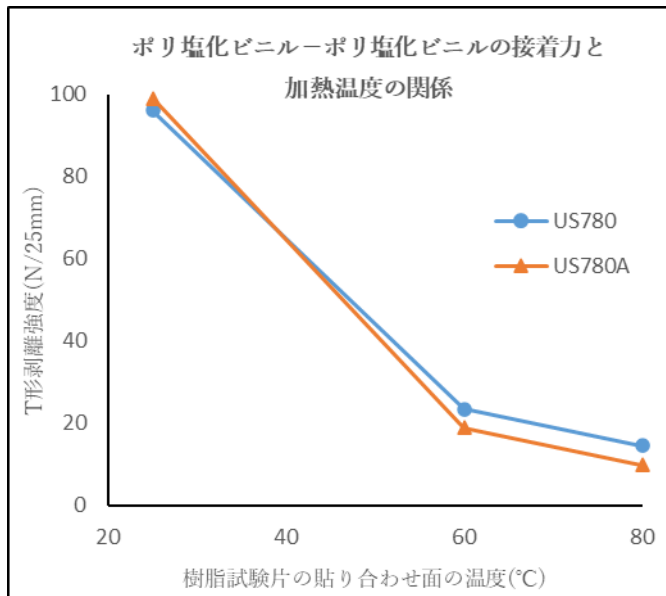
◎耐熱性

[試験条件]

貼り合わせ後 24 時間養生した加熱用試験片を、80℃及び 100℃設定の恒温槽内に 1 時間放置する。その後、取り出した直後の T 形剝離強度を測定し、未加熱状態と比較する。

※80℃設定の恒温槽内に 1 時間放置時の試験片の温度は約 60℃

100℃設定の恒温槽内に 1 時間放置時の試験片の温度は約 80℃



◎耐薬品試験

貼り合わせ後 24 時間養生し、各試験溶液に 1 ヶ月浸漬した後の平均接着強さを、標準状態の平均接着強さと比較する。

試験液 品番	1ヶ月浸漬後の耐薬品接着強さ保持率 (%)				
	水	硫酸10%	食塩3.5%	苛性ソーダ 10%	エンジン オイル
US780	98	78	96	67	77
US780A	99	100	100	75	95

◎抗カビ

JIS Z 2911 : 2018 一般工業製品の試験法による

検体名：ウルタイトスーパー780A※	培養期間	
	2週目	4週目
	1	1

※食品衛生法PL制度対応の抗菌剤を使用

菌糸の発育(評価方法)	評価
菌糸の発育が認められない	0
菌糸の発育が認められる面積が、全面積の1/3を超えない	1
菌糸の発育が認められる面積が、全面積の1/3を超える	2

※この技術資料は、当社の研究・試験によるもので、ご使用にあたりましては、予め使用目的・条件などに適合するかどうかご確認ください。  
抗菌剤の一部が析出して浮遊または沈殿する場合がありますが、接着剤の性能に問題はありません。